

住民意見募集（パブリックコメント）の結果

パブリックコメントを実施したところ、次のとおりご意見をいただきましたので、町の考え方など概要をお知らせします。

- 1 意見募集 上富良野町子どもセンター整備基本構想・基本計画（案）
- 2 募集期間 令和3年9月24日～3年10月24日
- 3 提出件数 1人 6件
- 4 ご意見に対する町の考え方

【ご意見】

◎基本構想・基本計画策定の経緯と背景

このページの末尾から3行目に、「円滑な事業実施のための基本的な考え方や取り組みを明確にするため。「上富良野町子どもセンター基本構想・基本計画」を策定します」との記述を主に受けて次のとおり意見を提出します。

1. 3 現状と課題（3頁） 「当町には、・・・・・・妊娠・出産、その後の子育てにおいて身近に相談者がいない方も多く、親の孤独感や育児に対する不安解消等を図りながら、子育て環境を整えていく必要があります。・・・・、個々に応じた支援を行っていくことが重要であり、子育て世代の視点に立った相談や関連事業の実施により、必要な情報が必要な保護者に届くことが、子育て 世代の孤立を防ぐことにつながります。」と記述してあり、次のページには子育て関係施設が記述してありますが、次のとおり提案します。

子育て関係施設に「みんなの居場所Soraの家」「M・I・T」「おうちパーク」の活動の記述がありません。他にも活動している方・団体等があると思います。そして、17頁には、「上富良野町新こどもセンター建設検討委員会」を設置して話し合いの場を設けるとなっています。この検討委員会で、子育て関連の活動について先ず広く情報を収集し、地域の様々な活

動に更に光を与えていただき、「多種多様な居場所・相談の確保」を更に進めていただきたい
と思います。

【町の考え方】

町内において、さまざまな視点から子育て支援に関わっている団体などについては認知して
います。今後も関係機関・団体などとは情報連携し、相談の機会や居場所の状況について把握
します。

2. 5頁「ファミリー・サポート・センター事業については、NPO法人こどもサポートふらの
に委託して事業を……基本事業や緊急サポート事業の利用増加に伴うサポーターの確保
も課題となっています。」と記述してありますが、次のとおり提案します。

地域で子育て環境をイメージすると、地域のお年寄りにサポーターとして活動していただ
けるような環境づくりも一案ではと思います。サポーター養成講座で学び、地域の子供に自分
のできる範囲で、更に寄り添える環境を地域のお年寄り自らつくることにより、その方の生きが
いとなり、認知症予防にもつながるのではと考えます。町でのサポーター養成支援及び里親制
度の周知について検討していただきたい。

【町の考え方】

地域において子育てを支えていただけますよう、子育てサポーター養成講座は、NPO法人こ
どもサポートふらのに委託し人材育成を推進しています。今後も子育てに関わる人材育成と確
保対策として、支援制度の啓発に努めます。

里親制度はホームページ、広報紙などで周知していきます。

3. 4 新子どもセンター整備の必要性

(4) 子育て世帯（未就学児童）を重点とした避難所として活用

避難所について触れていただきうれしく思います。指定避難所としての活用を強く望み次の
とおり提案します。

防災倉庫（子育て必需品の備蓄用）について検討するとともに、地域の方（防災士など）及
び町の防災担当と連携を図りながら、地域防災計画に反映していただきたい。

【町の考え方】

防災倉庫は想定していませんが、子育てにかかる必要物品について防災担当と連携・協議を
進めます。

4. 5 新子どもセンター整備の基本方針

(1) 子育て支援体制の確保

「新子どもセンターは、地域における子育て世帯が孤立することなく、・・・」と記述しており、次のとおり提案します。

「オンライン相談」について検討していただくとともに、「こどもサポートふらの」及び「ゆうひ」など活動している方々と輕易に情報が交換できる場（活動状況の見える化、SNSの活用など）及び定期・随時の情報交換または、コーディネーター（パイプ役）の配置により、必要な情報が必要な方に届き、声なき声に耳を傾ける更なる努力をしていただきたい。

【町の考え方】

新型コロナ禍における相談体制として、「オンライン相談等」について今後検討するとともに、相談体制の充実を図ります。

5. 6 新子どもセンター建設場所の選定

(1) 新子どもセンター建設場所

「新子どもセンター建設場所は、・・・・・・・・・・、現在の東児童館敷地内を候補地とし、建設の配置については、駐車場の確保や園庭等を考慮の上検討します。」とありますが次のとおり要望します。

豊かな自然と食材の「かみふ」のイメージ及び他市町村の子どもセンターとしての機能を持つ施設からみても、建設場所は狭く、園庭の検討を優先してのびのびと過ごせる場所にしていただきたい。

【町の考え方】

建設予定地敷地内において、子どもセンター機能と東児童館機能を有する建物、園庭、駐車場について検討していきます。

6. 10 新子どもセンター規模と財源内訳

(7) 建設検討委員会設置による検討

町担当課・者は、常日頃から子育て世代の「声」をよく聴き、政策に反映されていることは承知しているつもりです。子育て世代の方から「かみふは、いいね」という言葉をよく聞きます。

ただ、(8)整備スケジュールを拝見すると、令和5年には建設工事と「速足」での計画となっています。もう少し「足踏み」をして、町民とともに作り上げてもいいのかな、時間はかかるかもしれないが、後々の事を考えるとその方が担当課・者、町民も良いのではと思います。ただ、令和5年建設と既に決まったことと思います。であるならば、次の通り提案します。

建設検討委員会の進め方(プロセスデザイン)について、先ず一般に広く公開し、町民の関心を促すとともに、委員の方々が事前に及び委員会後に案件を持ち帰り、必要な方々と話し合える場・時を確保することが必要と思います。

この際、委員会で必要と判断する時期にテーマ毎に、数日での町民トークの開催(オンラインZoomでの参加を検討)について計画し、より多くの町民の参画を得て、「地域での子育て環境の整備」について話し合いながら作り上げる環境を整えることが必要と考えます。

【町の考え方】

建設検討委員会会議は公開(傍聴可)しており、各関係団体などへは適時説明していきます。基本計画策定スケジュールにおいて、町民トークなどの計画は困難と考えますが、広報紙などを通じて基本計画策定について周知していきます。